

道路通信 5

発行 道路を考える会

道路を考える会は、札幌市の都市計画道路3・2・10 環状通（南19条西7丁目～西15・16丁目）の整備計画について、従来の車優先で車道ばかりの広い道路から、歩行者や自転車などが、快適に利用できる歩道の広い道路に、整備計画を少しだけ変えてほしいと、札幌市へお願いしている市民活動団体です。

札幌市の都市計画道路 3・2・10 環状通の整備計画について、クルマ中心の道路から、歩行者や地域の環境に配慮された道路の形へ、少しだけ変えていただきたく、札幌市へお願いしています。

南19条通沿道の皆様（南19条通は、環状通です）、札幌市民の皆様
道路の形・札幌市のまちづくりについて、共に考えていただきたく道路通信をお届けいたしております。

できれば「道路を考える会」の要望案へのご賛同いただきたく、お願い申し上げます。

今まで、3月18日のアンケートに始まり、道路通信1～4を配布させていただきました。

札幌市道路課からは、今年（平成25年）1月時点では、「地域の意見を集めて、要望書という形で持ってきていただければ、少しは考えましょう。」という対応でした。それを受けて、アンケートや道路通信の配布を通して活動してまいりました。

今のところ、賛同して下さる方は、153名となっております。

今、札幌市建設局 土木部 道路課から、言われていることは、

『「道路を考える会」の要望（車道分5車線の道路）は、道路の車線数で言えば、4車線の道路ということになります。

都市計画上、環状通は6車線となっております。

「道路を考える会」の要望は、4車線の道路ですから、要望は、車線数の変更ということになりますので、都市計画の変更が必要になります。

ですから、市民まちづくり局 総合交通計画部 交通計画課 へ行ってください。』
とされています。

しかし、「道路を考える会」の要望は、単に車線数が 4だ、6だ、ということではありません。

要望案の4車線の道路は、交差点での右折車の影響を、右折の付加車線を設けることで回避しますので、交通容量と言う点では、札幌市の整備計画の6車線とほぼ同じであり、現状の幅員20mの4車線の道路の交通容量とは全く違います。

南19条通の周辺の地域は、札幌市の特徴である碁盤の目状に、道路が整備されています。交差点の多い地域です。交差点の多い道路では、交差点における右折車による影響が大きくなります。

札幌市の整備計画の道路は、交差点において、センターラインよりの車線の車の流れが止まり、車の流れは、歩道寄りの2車線となりますので、車の流れは、札幌市の整備計画の道路

と、「道路を考える会」の要望案の道路（車道は5車線分）は、ほとんど同じであり、交通容量も大差ないと考えています。

このことから、車線数の数字の問題ではなく、道路の形、交差点の状況、車の流れ、という点について真剣にしっかりと考えてもらう為の行政の窓口としては、やはり建設局土木部道路課が、最適であろうと考えています。車線の数字に、問題がすりかえられては、要望案の実現は、難しいと感じています。

「道路を考える会」の要望の真意は、伝わりません。

アンケートハガキの返信に込められた思いに支えられ、今まで必死に活動して参りましたが、行政に真正面から向き合ってもらえる状態には、なっていません。

この活動では、道路の形・車の流れ・交通安全・歩行者の安全安心・道路環境の向上・藻岩山ロープウェイの観光・藻岩山の自然と豊平川の広い河川敷を市民が楽しみやすくなることなど、要望案には車線の数字だけでは、表せない多くの思いがあります。

これらのことが、車線の数字の 4か6かという問題に集約されては、何か違うと感じています。

行政に取り合ってもらうには、声を大きくしていかなければならないということです。

要望案の提出が、なかなか出来ずに申し訳ありませんが、今しばらく声を大きくしていく活動を続けて行きます。札幌市が真正面から「道路を考える会」の要望案について考えていただけるように活動を続けて参ります。

道路を考える会は、市民活動団体になりましたので、

札幌市市民活動サポートセンター主催で行われるイベントに参加します。

「チ・カ・ホ で イイネ！ 市民活動がイイネ！」
に参加します。

日時：9月24日（火） 10：30～15：30

場所：地下歩行空間 出口番号 3 の近くです。

展示・広報活動をします。見に来てください。
お願いします。

道路を考える会

原田

道路通信の配布は、道路を考える会の活動の実績として重要です。ご協力お願い致します。